

新たに発生が確認された病害虫(*)、今後の発生に注意を要する病害虫等

農作物名	病害虫名	発生地域	発生確認年月	発生・被害の概要等
メロン	炭腐病*	つがる市	平成29年6月	地上部は萎凋・枯死し、根は根腐れ状態となり微小菌核を形成。分離菌株を用いて平成30年に接種試験を実施し、地上部の症状と根部の激しい炭腐れ症状を確認した。病徴と病原菌の形態的特徴から、 <i>Macrophomina phaseolina</i> による炭腐病と診断した。 (農林総合研究所)
きゅうり	炭腐病* (局所発生)	五所川原市	平成29年7月	地上部は萎凋・枯死し、根は根腐れ状態となり微小菌核を形成。分離菌株を用いて平成30年に接種試験を実施し、地上部の症状と根部の激しい炭腐れ症状を確認した。病徴と病原菌の形態的特徴から、 <i>Macrophomina phaseolina</i> による炭腐病と診断した。 (農林総合研究所)
スモークツリー	さび病* (局所発生)	黒石市	平成30年6月	葉と花に夏孢子堆を形成。ただし、既報の病原菌(<i>Pileolaria</i> sp.)とは夏孢子の形態が異なるため、今後は夏孢子を用いた接種試験による冬孢子形成の有無の確認と形態観察が必要である。 (農林総合研究所)
トルコギキョウ	べと病* (特異発生)	台湾産輸入苗	平成30年7月	海外産購入苗に起因するべと病の発生を確認した。定植4～5月定植の海外産品種で確認され、その後、同ハウス内及び隣接ハウス等の国産苗品種への発生も確認された。横浜植物防疫所に同定を依頼し、8月に <i>Peronospora chloreae</i> によるべと病と確定した。なお、発生は当該苗の輸入生産者の施設のみで、近隣生産者や他地域への発生拡大は確認されていない。 (病害虫防除所)
ツルムラサキ	紫斑病* (家庭菜園)	黒石市	平成30年8月	家庭菜園のツルムラサキの葉、葉柄、茎に紫色の小斑点を形成した。病斑部から <i>Fusarium</i> 菌を分離し、大型分生子・小型分生子の形態特徴から、 <i>Fusarium proliferatum</i> による紫斑病と診断した。 (農林総合研究所)
トマト	キュウリモザイクウイルス (発生拡大)	南部町	平成30年8月	葉にえそ症状を呈する激症状が認められた。イムノストリップによりキュウリモザイクウイルス(CMV)によるウイルス病と診断した。 (野菜研究所)

農作物名	病害虫名	発生地域	発生確認年月	発生・被害の概要等
なす	根腐疫病* (局所発生)	六戸町	平成30年8月	市場出荷用自根栽培の長ナス系品種で萎ちょう症状を呈する立ち枯れ株が持ち込まれ、イムノストリップキットにより <i>Phytophthora</i> による病害と診断した。 その後、形態及び遺伝子解析結果から、 <i>Phytophthora glovera</i> による根腐疫病と同定した。 (野菜研究所)
大豆	ダイズクキタマバエ (発生継続)	大鰐町	平成30年 8～9月	大豆ほ場の全面で激しい葉枯れ、茎の褐変症状が見られた。茎や葉柄の内部に多数のタマバエ幼虫の寄生が確認された。 (農林総合研究所)
プラタナス	プラタナス グンバイ* (庭木発生)	五戸町	平成30年9月	民家の庭に植栽された1本の成木で、葉が黄色く変色している症状を発見した。成虫の寄生・吸汁加害を確認し、採取した成虫の形態特徴からプラタナスグンバイと同定した。なお、付近のほかのプラタナスに被害樹は見られなかった。 (病害虫防除所)